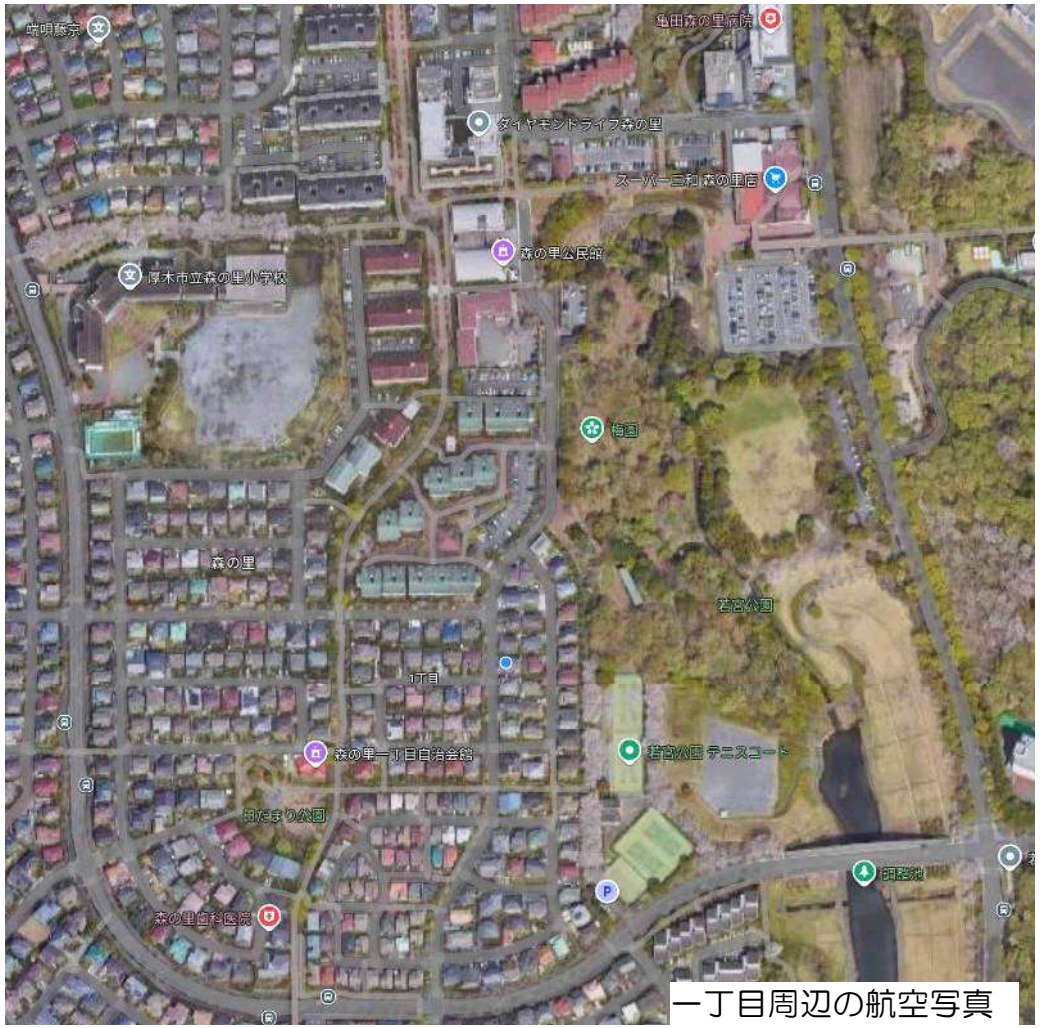
森の里一丁目自治会が取り組んでいるノラ猫TNR活動

＜地域の特徴＞

- 昭和58年～入居開始し、40年間を経過
- 戸数：573戸（森の里一丁目）
  内自治会員：450戸（78%）
- スーパーマーケットと広い若宮公園が隣接し、外部からの訪問者が多い



一丁目周辺の航空写真

2024.10.20　森の里一丁目自治会

１．どんな猫問題を抱えていた地域だったか

＜ノラ猫の増加要因＞

- スーパーマーケットと公園の利用者等による捨て猫の疑い
- 空家の増加等で隠れ場所が多く、近くに公園と小川もありノラ猫が生き易い環境
- 餌を撒くだけの無責任な餌やりが横行
- TNR活動が個人に依存し、繁殖防止に至っていなかった

どの様に対応して来たか

＜目標＞

① “繁殖のゼロ化”
⇒ TNR活動の徹底

② “管理されたコロニーの維持”
⇒ 個人保護活動家との連携

＜体制と予算＞

- 自治会業務にTNR活動を明記
  ⇒ 環境福利部が担当し、会長他が指導
  ※日頃の保護活動は、個人保護活動家に委ねる
- 自治会予算にTNR費用を計上
  ⇒ TNR活動経費/捕獲器の自前化

2．ノラ猫TNR活動計画（事例）

活動フロー		活動日・時間帯	活動概要			備考
			内容	場所ｘ設置台数及び餌＊	担当（敬称略）	
準備	捕獲器借用	1/31(水)午前	しっぽ村倉庫から借用（８台）	倉庫ｘ８	Aa	捕獲器台数確認
	餌付け	31(水)～2/3（土）	餌付け(開放固定)モード＋餌	Km邸x１／lu邸x1 ／Kn邸x1 ＊餌：3台ｘ4日分	Aa、Bb、Cc	餌その他の準備
捕獲(T)	捕獲開始・巡回	2/4(日)16時～夜間を通して捕まるまで	捕獲モード+餌 捕獲有無と耳カットの確認 ⇒ カット有りは開放し、捕獲継続	Km邸x4／lu邸x3／Kn邸x1 ＊餌：8台ｘ1日分	Aa、Bb、Cc、Dd、Ee	自治会館集合
	捕獲確認	捕獲次第：～翌日早朝	耳カット無しの確認と大判ペットシーツ装着	自治会館・資源倉庫へバスタオルで包んで、一時保管	Aa、Bb、Cc、Ee	自治会館集合
	搬送	2/5(月)早朝９時迄	8頭：捕獲器搬送	自治会館 ⇒ しっぽ村	Ee	5～Max. 8頭
手術(N)	不妊手術	2/5(月)	手術：不妊/去勢/耳ｶｯﾄ/その他は医師の判断に委ねる	手術後、しっぽ村に１泊して猫の様子を観察	しっぽ村-付属動物病院	混合ワクチン接種なし
戻す(R)	引き取り	2/6(火)の10時半頃	しっぽ村へ引き取り	しっぽ村 ⇒ 自治会館	Ee	Max. 8頭
	個体確認と開放	2/6(火)の11時頃～	耳カット確認と顔写真の撮影後に開放	自治会館	Aa、Ee	カメラ用意
片付け	捕獲器の洗浄	2/6(火)の11時半～	捕獲器の水洗い		Ee	
	捕獲器の返却		しっぽ村へ返却（８台）	自治会館 ⇒しっぽ村倉庫	Aa	捕獲器台数確認
事後処理	厚木市補助金申請	しっぽ村領収書の入手後	不妊去勢手術費助成金交付申請書・領収書	実費（オス¥5,000/頭メス¥6,500/頭）に対し、¥2,000/頭への差額補助	Ee	振込：申請後１ヶ月

3．ノラ猫TNRの活動実績

No.	捕獲日	捕獲頭数	手術頭数		その他	協力依頼先		備考
			メス	オス		捕獲器の借用先	手術の依頼先	
1	2020.12.21	5	1	4	0	しっぽ村	いそざき動物病院	
2	2021.1.19	8	3	3	2	しっぽ村	ふー動物病院	子猫2頭は里親探し
3	2021.4.28	5	3	2	0	しっぽ村	ふー動物病院	
4	2021.6.13	6	0	5	1	しっぽ村	神奈川県動物愛護センター	子猫1頭は里親探し
5	2021.10.19	3	3	0	0	しっぽ村	ふー動物病院	
6	2023.10.15	7	4	2	1	しっぽ村	しっぽ村付属医院	皮下気腫のためオペ中止
7	2024.2.4	5	4	1	0	しっぽ村	しっぽ村付属医院	子猫1頭をしっぽ村で保護
8	2024.6.9	1	0	1	0	厚木市生活環境課	VOC外猫診療所	Nekoken捕獲器に比し軽量猫の捕獲が不可
合計（頭）		40	18	18	4			

⇩

＜残された課題＞

- ノラ猫の現状：全体数10数頭（未手術３頭）
- 未手術３頭については、捕獲器への警戒心が非常に強く、短期ではなく長期間の餌付けが必要
  ⇒ 捕獲器の借用期間が短い（市では2週間）ため、自前化で対応

4．TNRを実施して住民はどのように変わったか

- 子猫を見かけなくなり、鳴き声等の苦情は激減したが、糞被害は相変わらず
- ノラ猫情報が自治会へ集まり易くなった
- 猫アレルギーの方も居られ、TNR活動への期待が大きい

5．自治会で取り組むメリットとデメリット

＜メリット＞

- 町内全体のノラ猫数が把握でき、TNR対策を一元化することで、捕獲時の餌供給量がコントロール可能
  ※猫を集めるために大変重要
- 自治会員向けの回覧/配布/HP及び一般向けの掲示板によって、啓蒙活動が迅速/容易化

＜デメリット＞

- 苦情が自治会へ集中し、担当者の負担増

6．行政への要望

①「マイクロチップの義務化徹底」に向けて、補助金等の支援策を要望
※2022.6施行、横浜市/鎌倉市に補助制度あり
⇒ “捨て猫の抑止力に期待”

② 捕獲器の整備
⇒ 軽量猫が捕獲できる 米トマホーク社製[Nekoken]捕獲器への更新と貸し出し期間延長を要望
※２週間→１ヶ月